



Taka Ishii Gallery

Photography / Film

5-17-1 2F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan

tel 03 5575 5004

fax 03 5575 5016

web www.takaishiigallery.com

email tigpf@takaishiigallery.com

細江 英公 Eikoh HOSOE

- 1933 山形県生まれ
- 1954 東京写真短期大学（現東京工芸大学）卒業
- 1959 東松照明、奈良原一高らとともに写真家集団・セルフ・エージェンシー「VIVO」を結成（61年に解散）
- 1974 「WORKSHOP 写真学校」の設立に参加
- 1975 東京写真大学短期大学部教授に就任
- 1981 日本写真家協会副会長に就任
- 1994 東京工芸大学芸術学部教授に就任
- 1995 清里フォトアートミュージアムの初代館長に就任
- 1998 東京工芸大学芸術学部及び大学院芸術学研究科（修士）課程教授に就任
- 2024 東京にて永眠

主な個展

- 2025 「Barakei – Ordeal by Roses」 Galerie Eric Mouchet Brussels（ブリュッセル、ベルギー）
- 2021 「細江英公の写真：暗箱のなかの劇場」清里フォトアートミュージアム（山梨）
- 2018 「細江英公作品展 おとこと女」JCII フォトサロン（東京）
「細江英公 芸術家たちの肖像」Galerie LIBRAIRIE6+ シス書店（東京）
- 2017 「細江英公 個展」YOD Gallery（大阪）
「細江英公写真展」ときの忘れもの（東京）
- 2016 アート・アーカイヴ資料展 XIV 「鎌鼬美術館設立記念 KAMAITACHI と TASHIRO」慶應義塾大学アート・スペース（東京）
「Ba-ra-kei」Envoy Enterprises（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
「Barakei – Ordeal by Roses」Galerie Eric Mouchet（パリ、フランス）
- 2014 「Eikoh Hosoe: Corpus de Imagens」Sesc Consolação（サンパウロ、ブラジル）
「鎌鼬」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）
「薔薇刑」YOD Gallery（大阪）
- 2013 「Eikoh Hosoe: Curated Body 1959-1970」Miyako Yoshinaga Gallery（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
「人間ロダン」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）
- 2011 「Eikoh Hosoe」CLAIRbyKahn（チューリッヒ、スイス）

- 「Eikoh Hosoe, Theatre of Memory」 ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館（シドニー、オーストラリア）
- 2010 「Estasi e Memorie」 Galleria Carla Sozzani（ミラノ、イタリア）
「Eikoh Hosoe, Theatre of Memory, 20 S.」 ケルン日本文化会館（ケルン、ドイツ）
「Eikoh Hosoe」 Galerie Photo4（パリ、フランス）
- 2009 「細江英公写真絵本展 花泥棒」 ギャラリー冬青（東京）[カタログ]
- 2008 「細江英公人間写真展 『抱擁』と『薔薇刑』」 Gallery White Room Tokyo（東京）[カタログ]
- 2007 「英公細江写真展 薔薇刑」 三菱地所アルティウム（福岡）
- 2006 「球体写真二元論 細江英公の世界」 東京都写真美術館（東京）[カタログ]
「屏風・掛軸 細江英公」 ときの忘れもの（東京）[カタログ]
- 2000 「ルナ・ロッサ」 モール（東京）
「細江英公の写真 1950-2000」 山形美術館（山形、7月20日－8月20日）；その後 足利市立美術館（栃木、8月26日－10月1日）；渋谷区立松濤美術館（東京、12月12日－2001年1月28日）；釧路市立美術館（北海道、2001年4月21日－5月27日）；周南市美術博物館（山口、2001年6月8日－7月22日）；秋田市立千秋美術館（秋田、2001年9月7日－10月21日）；清里フォトアートミュージアム（山梨、2003年4月26日－10月5日）他へ巡回 [カタログ]
- 1996 「細江英公写真展」 釧路ジスイズ（北海道）
- 1993 「細江英公・NUDE・新作展 夜明け前：世紀末にむかって」 新宿 I.C.A.C. ウェストン・ギャラリー（東京）
「細江英公ーガウディの肉体」 横浜タワーギャラリー（神奈川）
- 1990 「Eikoh Hosoe: Photographs 1951-1988」 George R. Brown Convention Center（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）[カタログ]
「EIKOH HOSOE: META」 Center for Creative Photography of the University of Arizona（ツーソン、アリゾナ州、アメリカ）；その後 1998年までアメリカ各地へ巡回 [カタログ]
- 1988 「写真・細江英公の世界展」 20世紀美術館（静岡、6月1日－8月31日）；その後 新潟市美術館（新潟、9月15日－10月23日）；渋谷東急百貨店（東京、1989年4月21日－26日）；国立国際美術館（大阪、1989年6月10日－7月23日）へ巡回 [カタログ]
- 1986 「土方巽追想 鎌鼬 細江英公による写真劇場展」 アスベスト館（東京）
「細江英公の写真 ガウディへの賛歌」 プランタン銀座（東京、12月27日－1987年1月20日）；その後 阪急ナビオ美術館（大阪、1987年8月27日－9月15日）；ながの東急百貨店（長野、1987年11月27日－12月9日）へ巡回 [カタログ]
- 1985 「細江英公 ガウディの宇宙 オリジナルカラープリント」 銀座画廊春秋（東京）
- 1984 「薔薇刑」 The Burden Gallery（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
「EIKOH HOSOE」 Forum Fotogaleria（タラゴナ、スペイン）
「ガウディの宇宙」 プランタン銀座（東京）[カタログ]
「細江英公：禅と超越」 ミラノ現代美術館（ミラノ、イタリア）

- 1983 「Human Body」 Galerie Accent (パリ、フランス)
 「Eikoh Hosoe: Killed by Roses」 National Gallery of Canada (オタワ、カナダ、2月12日－4月7日) ; その後 Gallery Stratford (ストラットフォード、オンタリオ州、カナダ、1月6日－2月5日) ; Mendel Art Gallery of Saskatoon (サスカトゥーン、サスカチュワン州、カナダ、1984年4月20日－6月3日) ; Peter Whyte Gallery of Banff (バンフ、アルバータ州、カナダ、1984年10月23日－11月11日) へ巡回
 「PHOTOGRAPHIES: eikoh hosoe」 Galerie Municipale du Chateau d'Eau (トゥールーズ、フランス) [カタログ]
 「Recent Works」 Light Gallery (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 1982 「Eikoh Hosoe: The Human Figure: 1960-1980」 International Museum of Photography at George Eastman House (ロチェスター、ニューヨーク州、アメリカ)
 「Eikoh Hosoe: Photographs 1960-80」 Rochester Institute of Technology (ロチェスター、ニューヨーク州、アメリカ、3月5日－4月5日) ; その後 Susan Spiritus Gallery (ニューポートビーチ、カリフォルニア州、アメリカ、9月25日－) へ巡回[カタログ]
 「Eikoh Hosoe: Kamaitachi and Selected Photographic Books」 Visual Studies Workshop (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
 「現代の長老・財界の35人」 富士フォトサロン銀座 (東京、8月6日－12日) ; その後 富士フォトサロン (大阪、10月22日－28日) へ巡回
 「細江英公展」 長崎屋桐生店 (群馬)
- 1981 「Eikoh Hosoe: Retrospective with the Recent Works」 Galerie Paule Pia (アントワープ、ベルギー)
- 1980 「Ordeal by Roses and Kamaitachi: 50 Photographies noir et blanc」 FNAC Forum (パリ、フランス、5月20日－6月5日) ; その後 Galerie Paule Pia (アントワープ、ベルギー) ; Nikon Gallery (チューリッヒ、スイス) ; Photo Art (バーゼル、スイス) へ巡回
- 1979 「EIKOH HOSOE: Fotografie」 Meierhof von Schloß Leopoldskron (ザルツブルク、オーストリア) ; Salzburg College Gallery (ザルツブルク、オーストリア)
 「Eikoh Hosoe: Kamaitachi」 Silver Image Gallery (シアトル、ワシントン州、アメリカ) ; The Ohio State University (コロンバス、オハイオ州、アメリカ) ; その後 Studiengalerie des Salzburg College (ザルツブルク、オーストリア、8月－) ; Portfolio Gallery (ローザンヌ、スイス) へ巡回
- 1978 「Eikoh Hosoe」 Susan Spiritus Gallery (ニューポートビーチ、カリフォルニア州、アメリカ)
- 1977 「ガウディ」 銀座ニコンサロン (東京、5月31日－6月5日) ; その後 新宿ニコンサロン (東京、6月7日－13日 ; 大阪ニコンサロン (大阪、7月1日－13日) へ巡回
- 1976 「Eikoh Hosoe」 Friends of Photography (カーメル・バイ・ザ・シー、カリフォルニア州、アメリカ)
- 1975 「Simmon: A Private Landscape」 Light Gallery (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ、5月25日－7月31日) ; その後 Spectrum Gallery (バルセロナ、スペイン) へ巡回

- 1974 「Eikoh Hosoe」 International Culture Center (アントワープ、ベルギー) ; その後 Fotogalerie Fiolet (アムステルダム、オランダ) へ巡回
- 1973 「Eikoh Hosoe」 Light Gallery (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 1971 「細江英公展」銀座画廊春秋 (東京)
- 1970 「Eikoh Hosoe」 Focus Gallery (サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ)
- 1969 「Man and Woman」 Smithsonian Institution (ワシントン D.C.、アメリカ)
- 1968 「とてつもなく悲劇的な喜劇 日本の舞踏家 天才<土方巽>主演写真劇場」銀座ニコンサロン (東京) [カタログ]
- 1960 「おとこと女」小西六フォトギャラリー (東京)
「土方巽に捧げる細江英公写真展」東京月光ギャラリー (東京)
- 1956 「細江英公写真展 フォトストーリー 東京のアメリカ娘」小西六フォトギャラリー (東京)

主なグループ展

- 2025 「森山大道 | 細江英公」和田画廊 (東京)
「Since Nadja 僕の私的回想のナジャ — Night in Shinjuku late '60s to '70s」児嶋画廊 (東京)
「黒白 vol.3 - Black and White - Noir et Blanc」児嶋画廊 (東京)
- 2024 「Material provocativo para pensar. Fotografía japonesa contemporánea. Colección José Luis Soler Vila」Museo Carmen Thyssen Málaga (マラガ、スペイン)
「OKASHI」Michael Hoppen Gallery (ロンドン、イギリス)
「#59 Yōjo - Jeremy Stigter & the IBASHO Collection」IBASHO Gallery (アントワープ、ベルギー)
「The Hong Kong Jockey Club Series: Noir & Blanc—A Story of Photography」M+ (香港、中国)
- 2023 「Group Show」Akio Nagasawa Gallery Ginza (東京)
- 2022 「黒白 - Kokubyaku: Black and White」児嶋画廊 (東京)
「OKETA COLLECTION 「YES YOU CAN -アートからみる生きる力-」」WHAT MUSEUM (東京)
「Earth: A Retrospective」Bombas Gens Centre d'Art (バレンシア、スペイン)
「Places of Longing」Ostlicht Gallery for Photography (ウィーン、オーストリア)
「Earth: A Retrospective」Bombas Gens Centre d'Art (バレンシア、スペイン)
- 2021 「Clandestine – The Photo Collection of Pedro Slim」コブラ近代美術館 (アムステルフェーン、オランダ)
- 2020 「Masters of Japanese Photography」IBASHO Gallery (アントワープ、ベルギー)
「BOTANICALS」Bombas Gens Centre d'art (バレンシア、スペイン)

- 「Der-Horng Autumn Photo Show」 Der-Horng Art Gallery (台南、台湾)
- 「Summertime」 Ostlicht Gallery for Photography (ウィーン、オーストリア)
- 「The Sky as a Studio. Yves Klein and his contemporaries」 Centre Pompidou-Metz (メッス、フランス)
- 「Golden Age: Five Masters of Japanese Photography」 Three Shadows Photography Art Centre (北京、中国)
- 「Sweet Somethings」 Robert Mann Gallery [オンライン展覧会]
- 2019 「DÉCLICS ANALOGIQUES」 CLAIRbyKahn (チューリッヒ、スイス)
- 「Eikoh Hosoe: Collaborations with Tatsumi Hijikata」 Nonaka-Hill (ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ)
- 「The Gaze of Things: Japanese Photography in the Context of Provoke」 Bombas Gens Centre d'art (バレンシア、スペイン、2019年2月22日-2020年2月2日) ; その後 Circulo de Bellas Artes (マドリード、スペイン、2020年7月3日-8月30日) へ巡回[カタログ]
- 2018 「清里フォトアートミュージアム収蔵作品展 原点を、永遠に。-2018-」 東京都写真美術館 (東京)
- 「グループ展」 Akio Nagasawa Gallery Ginza (東京)
- 「Time Frames: Contemporary East Asian Photography」 The Baltimore Museum of Art (ボルチモア、メリーランド州、アメリカ) [カタログ]
- 「建築 x 写真 ここのみに在る光」 東京都写真美術館 (東京) [カタログ]
- 「Shashin: are-bure-boke」 Michael Hoppen Gallery (ロンドン、イギリス)
- 「Celebrating the spring!!!」 CLAIRbyKahn (チューリッヒ、スイス)
- 2017 「MÉMOIRE ET LUMIÈRE: PHOTOGRAPHIE JAPONAISE, 1950-2000」 Maison européenne de la photographie (パリ、フランス)
- 「Japan-ness. Architecture and urbanism in Japan since 1945」 Centre Pompidou-Metz (メッス、フランス) [カタログ]
- 「Japanorama. New vision on art since 1970」 Centre Pompidou-Metz (メッス、フランス) [カタログ]
- 2016 「Provoke: Photography in Japan between Protest and Performance, 1960-1975」 Albertina (ウィーン、オーストリア、1月29日-5月8日) ; その後 Fotomuseum Winterthur (チューリッヒ、スイス、6月4日-8月28日) ; Le Bal (パリ、フランス、9月14日-12月11日) ; The Art Institute of Chicago (シカゴ、イリノイ州、アメリカ、1月28日-2017年5月5日) へ巡回[カタログ]
- 「Performing for the Camera」 Tate Modern (ロンドン、イギリス) [カタログ]
- 「四谷シモン+細江英公、沢渡朔、加納典明」 Akio Nagasawa Gallery Ginza (東京) [カタログ]
- 「Japanese Photography from Postwar to Now」 San Francisco Museum of Modern Art (サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ) [カタログ]

- 「Performance/Documents」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）
- 2015 「Up Close: Erotic Japanese Photography」Hong Kong Contemporary Art Foundation（香港、中国）
- 「Another Language: 8 Japanese Photographers」Les Rencontres d'Arles（アルル、フランス）[カタログ]
- 2014 「AKIO NAGASAWA Inaugural Exhibition」Akio Nagasawa Ginza Gallery（東京）
- 2013 「ジャパニーズ・フォトグラフィー 戦後—現在」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）
- 「アートがあればⅡ」東京オペラシティアートギャラリー（東京）
- 「Shinonome Photo Festival 2013」TOLOT / heuristic SHINONOME（東京）
- 「TOKYO 1970 by Japanese Photographers 9」アルマーニ / 銀座タワー9階（東京）[カタログ]
- 2000 「四谷シモン—人形愛」大分市美術館（大分、6月3日—7月16日）；その後 小田急美術館（東京、8月23日—9月10日）；宮城県美術館（宮城、11月3日—12月17日）；徳島県立近代美術館（徳島、2001年1月20日—3月11日）；札幌芸術の森美術館（北海道、2001年4月1日—5月27日）へ巡回[カタログ]
- 1999 「デモクラート 1951-1957 解放された戦後美術」宮城県立美術館（宮城、5月2日—30日）；その後 和歌山県立近代美術館（和歌山、6月8日—7月11日）；埼玉県立近代美術館（埼玉、8月21日—10月11日）へ巡回[カタログ]
- 1997 「美術と舞踏の土方巽展」池田 20世紀美術館（静岡）
- 1996 「日本の写真—内なるかたち・外なるかたち 第2部 戦後写真の変容 1945-80展」東京都写真美術館（東京）[カタログ]
- 1995 「戦後文化の軌跡 1945-1995」目黒区美術館（東京、4月19日—6月4日）；その後 広島市現代美術館（広島、6月14日—7月21日）；兵庫県立近代美術館（兵庫、8月15日—9月24日）；福岡県立美術館（福岡、10月8日—11月5日）へ巡回[カタログ]
- 「東京国立近代美術館と写真 1953-1995」東京国立近代美術館フィルムセンター（東京）[カタログ]
- 「澁澤龍彦画廊展」日動画廊（東京）[カタログ]
- 1994 「戦後日本の前衛美術/Japanese Art After 1945: Scream Against The Sky」横浜美術館（神奈川、2月5日—3月30日）；その後 Guggenheim Museum SoHo(ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ、9月14日—1995年1月8日)；San Francisco Museum of Modern Art（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ、1995年5月31日—8月27日）へ巡回[カタログ]
- 1993 「久保貞次郎と芸術家」町田市立国際版画美術館（東京）[カタログ]
- 「時代をひらいた写真家たち 1960—1970年代」東京都写真美術館（東京）[カタログ]
- 1992 「戦後写真と東北 2—原・日本風景への試論」宮城県美術館（宮城）[カタログ]
- 1991 「土方巽展 風のメタモルフォーゼ(変容)」秋田市立千秋美術館（秋田）[カタログ]

- 「日本写真の転換 1960 年代の表現」 東京都写真美術館（東京）[カタログ]
- 「Beyond Japan: A Photo Theatre」 Barbican Art Gallery（ロンドン）
- 「写真の 1955-65—自立した写真群—」 山口県立美術館（山口）[カタログ]
- 1990 「Japon-Années 60, Paris: Picto-Associ du Mois de la Photo」（パリ、フランス）
- 1989 「写真 150 年展—渡来から今日まで」 コニカプラザ（東京）[カタログ]
- 「土方巽とその周辺—闇と光のイコノロジー」 横浜市民ギャラリー（神奈川）[カタログ]
- 「写真と 150 年・54 Master Photographers of 1960-1979」 国際写真センター（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）[カタログ]
- 1987 「土方巽舞踏写真展—危機に立つ肉体」 渋谷パルコ Part 1（東京）[カタログ]
- 1986 「瑛九とその周辺」 埼玉県立近代美術館（埼玉、6 月 14 日—8 月 3 日）；その後 宮崎県総合博物館（宮崎、9 月 6 日—28 日）；和歌山県立近代美術館（和歌山、10 月 4 日—27 日）[カタログ]
- 1985 「ダイトランスファープリント展」 東京ナガセフォトサロン（東京、11 月 18 日—30 日）；その後 大阪ナガセフォトサロン（大阪、12 月 16 日—21 日）へ巡回
- 「Black Sun: The Eyes of Four」 Museum of Modern Art Oxford（オックスフォード、イギリス、12 月 8 日—1986 年 2 月 9 日）；その後 Serpentine Gallery（ロンドン、イギリス、1986 年 4 月 5 日—5 月 11 日）；Philadelphia Museum of Art（フィラデルフィア、ペンシルベニア州、アメリカ、1986 年 8 月 9 日—10 月 26 日）へ巡回[カタログ]
- 1984 「Die japanische Photographie」（ハンブルク、ドイツ）
- 1983 「Un regard sur l'art japonais d'aujourd'hui; 25 peintres, sculpteurs, ceramistes et photographes contemporains」 Musée Rath et Musée d'art et d'histoire de Genève（ジュネーヴ、スイス）
- 「New Perspectives on the Nude」 Fotogallery（ウェールズ、イギリス）
- 「Personal Choice: A Celebration of Twentieth Century Photographs」 Victoria and Albert Museum（ロンドン、イギリス）[カタログ]
- 1982 「International Photography 1920-80」 Australian National Gallery（キャンベラ、オーストラリア）
- 1981 「Astrazione e Realt」 Galleria Flaviana（ロカルノ、スイス）
- 1979 「Fotografia Giapponese dal 1848 ad Oggi (Japanese photography: Today and Its origin)」 Galleria d'art moderna（ボローニャ、イタリア、1 月—）；その後 Palazzo Reale（ミラノ、イタリア）；Palais des Beaux-Arts（ブリュッセル、ベルギー）；Institution of Contemporary Arts（ロンドン、イギリス）；Museum für Kunst und Gewerbe（ハンブルク、ドイツ）；Gemeente Museum（アルンヘム、オランダ）；Pulchri Studio（ハーグ、オランダ）へ巡回[カタログ]
- 1978 「VIVO: Six Japanese Photographers」 Santa Barbara Museum of Art（サンタバーバラ、カリフォルニア州、アメリカ、10 月 21 日—11 月 26 日）；その後 写大ギャラリー（東京、1981 年 9 月 21 日—10 月 24 日）へ巡回
- 1976 「写真売ります—12 人の写真家による自選作品展」 資生堂ザ・ギンザ（東京）

- 「Neue Fotografie aus Japan」 Kunsthaus Graz（グラーツ、オーストリア）
- 1975 「オリジナル・プリントによる 5 人の現代写真家連続個展」札幌ガレリアドキュメンタ（北海道）[カタログ]
- 「日本現代写真史展—終戦から昭和 45 年まで」池袋西武美術館（東京）
- 日本写真家協会創立 25 周年記念事業「ヌード 25 年」キャノンサロン（東京）
- 日本写真家協会創立 25 周年記念事業「人物写真 25 年」新宿ニコンサロン（東京）
- 1974 「New Japanese Photography」Museum of Modern Art（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）[カタログ]
- 「写真から写真へ」新宿マツグロソ（東京）
- 1973 「瑛九とデモクラート展」梅田近代美術館（大阪）[カタログ]
- 1972 「10 人の写真家による被写体四谷シモン展」新宿紀伊国屋画廊（東京）
- 1970 「三島由紀夫展」池袋東武百貨店（東京）[カタログ]
- 1967 「Photography in the Twentieth Century」Galerie Nationale du Canada（オタワ、カナダ）；
その後 1973 年までカナダ内数箇所を巡回
- 1966 「現代写真の 10 人」東京国立近代美術館（東京）[カタログ]
- 1963 「現代写真展 1961-62 年」東京国立近代美術館（東京）[カタログ]
- 1962 「写真展 NON」銀座松屋（東京）
- 1961 「現代写真展—1960」東京国立近代美術館（東京）[カタログ]
- 1960 「現代写真展—1959」東京国立近代美術館（東京）[カタログ]
- 1959 「第 3 回 10 人の眼」小西六フォトギャラリー（東京）
- 1958 「第 2 回 10 人の眼」小西六フォトギャラリー（東京）
- 1957 「第 1 回 10 人の眼」小西六フォトギャラリー（東京）
- 1954 「第 3 回 デモクラート美術展」丸善画廊（東京）
- 1953 「第 2 回 デモクラート美術展」丸善画廊（東京）

受賞歴

- 2017 旭日重光章
- 2010 文化功労者顕彰
- 2008 毎日芸術賞
- 2007 旭日小綬章
- 2003 英国王立写真協会 特別勲章
- 1998 紫綬褒章
- 1970 芸術選奨文部大臣賞受賞（『鎌鼬』）
- 1963 日本写真批評家協会作家賞（『薔薇刑』）
- 1960 日本写真批評家協会新人賞（個展「おとこと女」）

1951 富士フォトコンテスト学生の部 最高賞（『ポーディちゃん』）

主な出版物

『鎌鼬 田代の土方巽』慶應義塾大学出版会、2016 年
『シモン 私風景』Akio Nagasawa Gallery、2012 年
『鎌鼬 普及版』青幻舎、2009 年
『薔薇刑 完全復刻版』ナディッフ、2008 年
『球体写真二元論 私の写真哲学』窓社、2006 年
『鎌鼬 復刻版』青幻舎、2005 年
『ざっくばらんに話そう 私の写真観』窓社、2005 年
『なんでもやってみよう 私の写真史』窓社、2005 年
『ルナ・ロッサ 細江英公の写真絵本[妖精物語]』新潮社、2000 年
『たかちゃんとぼく』（文：ベティ・ジーン・リフトン）小学館、1997 年
『とんぼの本 写真の見方』（澤本徳美と共著）新潮社、1986 年
『A PLACE CALLED HIROSHIMA』講談社インターナショナル、1985 年
『Human Body』日本芸術出版社、1982 年
『抱擁 朝日ソノラマ写真選書 4』朝日ソノラマ、1977 年
『抱擁』写真評論社、1972 年
『新輯版 薔薇刑』集英社、1971 年
『鎌鼬』現代新潮社、1969 年
『おんな エロスの対話』（一村哲也・大倉舜二と共著）毎日新聞社、1969 年
『Why, Mother, Why?』（古田幸と共著）講談社インターナショナル、1965 年
『薔薇刑』集英社、1963 年
『おとこと女』カメラアート社、1961 年
『35 ミリ・スナップ』光画荘、1955 年

パブリック・コレクション

Albertina（ウィーン、オーストリア）

シカゴ美術館（シカゴ、イリノイ州、アメリカ）

フランス国立図書館（パリ、フランス）

ポンピドゥー・センター（パリ、フランス）

George Eastman Museum（ロチェスター、ニューヨーク州、アメリカ）

Hamburg Museum of Art（ハンブルク、ドイツ）

Hirshhorn Museum and Sculpture Garden (ワシントン D.C.、アメリカ)

清里フォトアートミュージアム (山梨)

ロサンゼルス・カウンティ美術館 (ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ)

M+ (香港、中国)

ヨーロッパ写真美術館 (パリ、フランス)

Museum of Fine Arts (ボストン、マサチューセッツ州、アメリカ)

ヒューストン美術館 (ヒューストン、テキサス州、アメリカ)

ニューヨーク近代美術館 (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)

オーストラリア国立美術館 (キャンベラ、オーストラリア)

カナダ国立美術館 (オタワ、カナダ)

国立国際美術館 (大阪)

京都国立近代美術館 (京都)

東京国立近代美術館 (東京)

J・ポール・ゲティ美術館 (ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ)

サンフランシスコ近代美術館 (サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ)

Smithsonian Institution (ワシントン D.C.、アメリカ)

東京都写真美術館 (東京)

東京工芸大学 (東京)

ヴィクトリア&アルバート博物館 (ロンドン、イギリス)